

# 会議録

日時	令和4年12月13日(火)14:00~16:00
場所	総合文化センター 視聴覚室
件名	令和4年度 第5回社会教育委員会定例会
出席者	社会教育委員:小栗正敏、湯原定雄、渡邊啓介、足立亘、岩島留美子、安藤裕子、有賀秀雄、伊藤孝一、浅沼克郎、遠藤晶子 事務局:奥谷ひとみ(社会教育課長)、小栗茂(中央公民館長)、藤井志保(社会教育課課長補佐)、川畑篤仁(社会教育課)
議題	<p>(令和4年度研究テーマ)「生涯学習推進のための駅北複合施設のあり方」</p> <p>1 あいさつ(有賀代表)</p> <p>市教委では次期瑞浪市教育振興基本計画の審議会が始まっている。社会教育委員会からは安藤委員に入らせていただいている。10年先を見通すことは本当に難しいが、「こんなものがあつたらいいな」という市民の声を盛り込んでいただけると良いと思う。私の思いとしては、生涯学習の観点から、人が生まれてから死ぬまで健康でやりがいを持って生きていける、そんな世の中になってほしいと願う。行政と市民の立場でどのようなことができるのかこの計画でお示しいただけるといいなど考えている。</p> <p>各地区の学校運営協議会では各委員も会議に参加していただいている。「学校要請型」から、地域の方が協力できることをできるときにやる「自発的協力型」の活動になっていくと、結果的に「自分のため」の活動になっていくと思う。地域学校協働活動本部の設置がゴールなのではなく、子供たちの笑顔と自分たちのやりがいのために、という原点に時々立ち返ることが必要。</p> <p>2 提言の検討</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・図書館と公民館を複合施設にするメリットとデメリットについて意見交流をする。</li><li>・2つの部会が一緒になって、第4回で出てきた内容について、複合施設という視点から必要な機能やその機能を維持するための施設設備について検討する。</li></ul> <p>(意見)</p> <p>【図書館と公民館を複合施設にするメリットとデメリットについて】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・現在の駅北駐車場と比較して、いろいろな目的で車両が瑞浪駅北に出入りすることになる。信号機の設置などを含め交通安全上の対策が必要になる。</li><li>・(現在の施設計画には無いが)乳幼児の子どもを連れて図書館に来た方が気軽に立ち寄れる、子育て支援・相談できるコーナーができるとよい。</li><li>・施設の貸館のみの移転の場合、市民の学習の場の提供という機能は低下する。</li><li>・公民館と図書館は運営ノウハウが異なる。運営を指定管理にする場合、ノウハウの違いによって、公民館もしくは図書館の機能が低下しないように、どちらにも専門性を持った指定管理者を選ばなくてはならない。</li><li>・施設の運営管理の方法についても踏み込んで提言する必要があるかもしれない。</li><li>・地区公民館が行っているように、瑞浪・土岐・明世地区の公民館として、それぞれ執務スペースと集落支援員を確保し、行事や講座を実施して、地域が盛り上がるような役割を持ってほしい。</li></ul>

・複合施設内に社会教育担当課が入ることで、地区公民館活動や地域学校協働活動を含む社会教育事業に腰を据えて取り組んでもらえると思う。

**【公民館：必要な機能やその機能を維持するための施設設備】**

・瑞浪・土岐・明世の地区公民館としての機能を充実させ、公民館運営協議会の設置、さらには中央公民館運営協議会の設置と実施が必要。

・大府文化交流の杜の視察の際、ボランティア者が活動できる部屋が確保してあり大変感心した。ボランティア活動のための部屋の設置が必要。

・市民の関心の調査を連携して行い、公民館と図書館が共同して催し物を開く。

・(公民館、図書館共通)利用者が利用しやすい開館時間にする。

**【図書館：必要な機能やその機能を維持するための施設設備】**

・瑞浪駅前からすんなり施設に入れるようなアクセスの良さ。現状の地下道では駅前から駅北へ行きづらいのでは。瑞浪駅前のホームから施設へつなぐ直通路もあると理想なのだが。

・瑞浪市ならではの展示をする。

・(公民館、図書館共通)行事等の情報発信力の強化(自分で調べなくても目に入るような)。

・施設の自動化も必要だが、図書館司書の配置やレファレンスサービスの強化。

・(大府市の視察の際)鳥の鳴き声のBGMが流れていたり、植物が植栽されたスペースがあったりした。リラックスできる読書スペースがあるとよい。

・ボランティア活動や公民館活動に参加した方に施設利用料を割引するなど、継続して公民館に来てもらえるような工夫があるとよい。

・行政の立場から複合施設の運営や活動を推進する役職の人あるいは部署を配置する。

・活発なボランティア活動の充実。

・提言書(案)の項目、内容について意見交流をする。

(意見)

・「家庭教育」や「家庭での学び」の「家庭」の使用に注意。ひとり親はもちろんのこと、親がいない子供、無国籍児にも学びは保証されている。

**3 今度の見通しについて**

第6回 1月17日(火)・提言についての検討②

・次期研究テーマについて

・各会議等より報告

社会教育振興協議会(有賀委員)

青少年育成市民会議(渡邊委員)

美術展運営懇談会(足立委員)

図書館協議会(岩島委員)

教育委員会点検評価委員会(浅沼委員)

人権施策推進ネットワーク(安藤委員)

第7回 2月21日(火)・提言の最終確認)

(参考)

2月下旬 教育長へ報告

3月下旬 駅北プロジェクト会議にて都市計画課等に説明

庁議メンバーへ報告

3月23日(木)・教育委員会定例会にて提言書提出

#### **4 その他**

・コミュニティースクール(釜戸地区)の実践について遠藤委員から発表していただく(2/21定例会時)。

#### **5 事務局より**

(1) 各種研修会

① フォローアップ研修(1/26、総合文化センター): 浅沼委員、岩島委員

② 岐阜県地域学校協働活動フォーラム2022(2/10)

(2) 配付物等紹介

#### **6 閉会の言葉(伊藤副代表)**